

第 6 次留萌市総合計画 検証結果（案）

令和 8 年 7 月

留萌市

目 次

第1章	検証概要	1
1	はじめに	1
2	評価方法	2
3	数値目標（K P I）の達成状況	3
4	所管評価（施策単位）の達成状況	4
第2章	基本施策ごとの成果と総合評価	5
1	全体の総合評価	5
2	基本施策別の総合評価	5
3	総合評価の特徴	6
1-01	地域産業の振興	7
1-02	一次産業の振興と地産地消の促進	8
1-03	港湾・物流の確保	9
2-01	魅力の創造と発信	10
3-01	協働による地域づくり	11
3-02	健康の増進と地域医療の充実	12
3-03	地域包括ケアシステムの充実	13
3-04	地域福祉の充実	14
3-05	社会保障の充実	15
4-01	学校教育の充実	16
4-02	社会教育の充実	17
4-03	教育環境の充実	18
4-04	子ども・子育て支援の充実	19
5-01	安全・安心な地域づくり	20
5-02	安全・安心な暮らし	21
5-03	安全・安心な都市機能	22
6-01	快適な住環境と自然環境	23
6-02	快適な都市機能	24

第1章 検証概要

1 はじめに

留萌市では、平成29年度にスタートした「第6次留萌市総合計画（以下「現行計画」という。）」の基本構想で掲げる「みんなでつくるまち・ひと・きぼう 次の時代へ続く留萌」を基本テーマとし、その将来像の実現に向け、基本計画に基づき諸施策を総合的かつ計画的に展開してきました。

現行計画の計画期間が令和8年度末（令和9年3月）をもって終了することから、現在、令和9年度を初年度とする「第7次留萌市総合計画（以下「次期計画」という。）」の策定作業を進めています。

本資料は、次期計画を策定するにあたっての基礎資料とするため、現行計画の「基本施策」及び「施策区分」ごとに定めている成果指標の推移や達成状況のほか、計画期間中における主な取組や成果、今後の課題などを検証・整理したものです。

現行計画は、基本構想に掲げる6つの「基本政策」を実現するため、18の「基本施策」と、体系別に分類した76の「施策区分」で構成されており、それぞれ方向性を明示するとともに、数値目標（成果指標）を設定することで進捗管理を行っています。

2 評価方法

施策評価にあっては、施策の進展度合いを段階的に評価しています。

(1) 評価方法

数値目標（K P I）評価（成果指標単位）と所管評価（施策単位）の点数を合算して「総合評価」とします

① 数値目標（K P I）評価（成果指標単位）

評価区分	点数	定義
達成	3点	100%以上
基準値以上	2点	基準値以上
未達成	1点	基準値以下

※「基準値以上」とは、目標値には達していないものの、基準年度（令和2年度）より良化したものをいいます。

② 所管評価（施策単位）

評価区分	点数	定義
達成	3点	目指す姿に到達
未達成（進展有）	2点	目指す姿に達していないが、目標に近づいた
未達成	1点	目指す姿には十分に近づけず、見直し等が必要

③ 総合評価（①+②）

評価区分	点数	定義
達成	6点	数値目標（K P I）と所管評価のいずれも達成
概ね達成	5点	目標達成には至らないが、改善が見られ、継続的な取り組みが期待できる状態
未達成（進展有）	4点	進展は見られるが、現在の取り組みでは目標達成に至らず、改善策の検討が必要な状態
未達成	3点以下	抜本的な見直し等が必要

※「指標の達成・未達成は一つの判断基準として、指標の結果のみにとどまらず、施策の目指す姿に照らした定性的な評価も加味しています。

※複数の担当課が関わる施策区分において異なる評価が見られた場合でも、それぞれの視点を整理したうえで、市として総合的に判断し最終的な判定を行っています。

3 数値目標（K P I）の達成状況

(1) 全体の達成状況

成果指標は複数の施策区分に共通して設定されている指標を含め、延べ176項目を設定しています。このうち、重複して計上している指標及び計画期間中の制度変更等により調査時点や対象が変わり単純な比較ができなくなった項目（7項目）を除いた、169項目について、次のとおり評価しました。

評価区分	達成状況
達成（3点）	69項目（40.8%）
基準値以上（2点）	43項目（25.4%）
達成・基準値以上（合計）	112項目（66.3%）
未達成（1点）	57項目（33.7%）
判定不可	7項目

※達成した指標は全体の4割にとどまるものの、目標には届かないながらも基準年度より良化した「基準値以上」を加えると、全体の約3分の2にあたる112項目で改善が確認されました。これは、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響という厳しい環境下においても、各施策が一定の効果を上げてきたことを示すものです。

(2) 基本施策別の達成状況

政策名	基本施策	指標数	達成	基準値以上	未達成	達成率	改善率
産業・港・雇用	1-01 地域産業の振興	11	4	2	5	36.4%	54.5%
	1-02 一次産業の振興と地産地消の促進	9	4	3	2	44.4%	77.8%
	1-03 港湾・物流の確保	4	1	1	2	25.0%	50.0%
観光・交流	2-01 魅力の創造と発信	10	8	1	1	80.0%	90.0%
健康・福祉	3-01 協働による地域づくり	4	1	1	2	25.0%	50.0%
	3-02 健康の増進と地域医療の充実	8	0	3	5	0.0%	37.5%
	3-03 地域包括ケアシステムの充実	2	2	0	0	100.0%	100.0%
	3-04 地域福祉の充実	3	0	0	3	0.0%	0.0%
	3-05 社会保障の充実	9	5	1	3	55.6%	66.7%
教育・子育て	4-01 学校教育の充実	32	16	5	11	50.0%	65.6%
	4-02 社会教育の充実	14	4	10	0	28.6%	100.0%
	4-03 教育環境の充実	7	3	1	3	42.9%	57.1%
	4-04 子ども・子育て支援の充実	8	5	2	1	62.5%	87.5%
防災・防犯	5-01 安全・安心な地域づくり	9	0	4	5	0.0%	44.4%
	5-02 安全・安心な暮らし	8	5	1	2	62.5%	75.0%
	5-03 安全・安心な都市機能	3	1	1	1	33.3%	66.7%
環境・都市基盤	6-01 快適な住環境と自然環境	14	7	2	5	50.0%	64.3%
	6-02 快適な都市機能	14	3	5	6	21.4%	57.1%
合計		169	69	43	57	40.8%	66.3%

※ 指標数の合計169は、重複指標及び判定不可の指標を除いた実数です。

※ 4-01（学校教育の充実）は制度変更等により調査項目が無くなった4指標を除いた32指標を集計対象としています。

※ 6-02（快適な都市機能）は判定不可（マイナンバーカード交付率）の1指標を除いた14指標を集計対象としています。

※ 「改善率」は「達成＋基準値以上」を指標数で除した割合です。

4 所管評価（施策単位）の達成状況

施策の達成状況については、数値目標（成果指標）の達成状況を参考にしつつ、計画期間中の主な取組の成果や今後の課題を総合的に勘案した上で、各担当課が評価を行いました。なお、指標の達成・未達成はあくまで目安であり、指標の達成（未達成）＝施策の達成（未達成）ではなく、施策の目指す姿に照らした定性的な評価も加味しています。

全76施策のうち達成は44施策で、達成率は57.9%となりました。

数値目標の達成率（40.8%）を上回っており、指標が未達成であっても施策の目指す姿に向けた取組が着実に進展している分野が一定数あることを示しています。「基本施策」ごとの達成率をみると、「3-03 地域包括ケアシステムの充実」（100.0%）、「4-04 子ども・子育て支援の充実」（100.0%）、「5-02 安全・安心な暮らし」（100.0%）の3基本施策がすべての施策で達成となった一方、「1-03 港湾・物流の確保」、「3-01 協働による地域づくり」、「3-04 地域福祉の充実」については未達成（進展有）との評価となり、分野間での達成状況に差が生じています。特に「健康・福祉」分野では、人口減少・高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症の影響、担い手不足など複合的な要因が重なり、施策の目指す姿の実現が困難な状況が続いています。一方で、「教育・子育て」や「防災・防犯」の一部分野では、計画期間を通じた継続的な取組の成果が表れており、達成率の高い結果となっています。

（施策の達成状況）

政策名	基本施策	施策数	うち達成	進展有	達成率
産業・港・雇用	1-01 地域産業の振興	6	3	3	50.0%
	1-02 一次産業の振興と地産地消の促進	4	2	2	50.0%
	1-03 港湾・物流の確保	2	0	2	0.0%
観光・交流	2-01 魅力の創造と発信	5	4	1	80.0%
健康・福祉	3-01 協働による地域づくり	4	0	4	0.0%
	3-02 健康の増進と地域医療の充実	4	2	2	50.0%
	3-03 地域包括ケアシステムの充実	1	1	0	100.0%
	3-04 地域福祉の充実	2	0	2	0.0%
	3-05 社会保障の充実	5	3	2	60.0%
教育・子育て	4-01 学校教育の充実	5	4	1	80.0%
	4-02 社会教育の充実	3	1	2	33.3%
	4-03 教育環境の充実	3	2	1	66.7%
	4-04 子ども・子育て支援の充実	5	5	0	100.0%
防災・防犯	5-01 安全・安心な地域づくり	4	2	2	50.0%
	5-02 安全・安心な暮らし	5	5	0	100.0%
	5-03 安全・安心な都市機能	3	2	1	66.7%
環境・都市基盤	6-01 快適な住環境と自然環境	7	4	3	57.1%
	6-02 快適な都市機能	8	4	4	50.0%
合計		76	44	32	57.9%

※一つの施策区分に複数の担当課が評価を行っている場合、施策の達成状況は当該施策の主たる目指す姿への達成度を総合的に勘案した上で判定しています。

※成果指標を設定していない施策区分については、KPI評価を行わず、所管評価により総合評価を判定します。

※本表は所管評価（施策単位）のみによる達成状況であり、KPI評価を合算した「総合評価」の結果は第2章のとおりです。

第2章 基本施策ごとの成果と総合評価

1 全体の総合評価

全76施策に対して、K P I 評価（成果指標単位）と所管評価（施策単位）を合算した総合評価を行いました。

評価区分	施策数	割合
達成（6点）	28	36.8%
概ね達成（5点）	15	19.7%
達成・概ね達成（合計）	43	56.6%
未達成（進展有）（4点）	21	27.6%
進展有含む（合計）	64	84.2%
未達成（3点以下）	12	15.8%
合計	76	100.0%

2 基本施策別の総合評価（K P I + 所管評価）

政策名	基本施策	施策数	達成	概ね達成	未達成 (進展有)	未達成	達成率 (達成・概ね)	進展有含む
産業・港・雇用	1-01 地域産業の振興	6	2	2	1	1	66.7%	83.3%
	1-02 一次産業の振興と地産地消の促進	4	1	1	2	0	50.0%	100.0%
	1-03 港湾・物流の確保	2	0	0	2	0	0.0%	100.0%
観光・交流	2-01 魅力の創造と発信	5	4	0	1	0	80.0%	100.0%
健康・福祉	3-01 協働による地域づくり	4	0	1	1	2	25.0%	50.0%
	3-02 健康の増進と地域医療の充実	4	0	1	1	2	25.0%	50.0%
	3-03 地域包括ケアシステムの充実	1	1	0	0	0	100.0%	100.0%
	3-04 地域福祉の充実	2	0	0	0	2	0.0%	0.0%
	3-05 社会保障の充実	5	3	0	0	2	60.0%	60.0%
教育・子育て	4-01 学校教育の充実	5	2	2	1	0	80.0%	100.0%
	4-02 社会教育の充実	3	1	0	2	0	33.3%	100.0%
	4-03 教育環境の充実	3	1	1	1	0	66.7%	100.0%
	4-04 子ども・子育て支援の充実	5	3	2	0	0	100.0%	100.0%
防災・防犯	5-01 安全・安心な地域づくり	4	0	1	2	1	25.0%	75.0%
	5-02 安全・安心な暮らし	5	3	1	1	0	80.0%	100.0%
	5-03 安全・安心な都市機能	3	2	0	1	0	66.7%	100.0%
環境・都市基盤	6-01 快適な住環境と自然環境	7	3	1	3	0	57.1%	100.0%
	6-02 快適な都市機能	8	2	2	2	2	50.0%	75.0%
合計		76	28	15	21	12	56.6%	84.2%

※「達成率」は「達成＋概ね達成」を施策数で除した割合です。

※「進展有含む」は「達成＋概ね達成＋未達成（進展有）」を施策数で除した割合です。

3 総合評価の特徴

(1) 達成状況の分析

達成率（達成＋概ね達成）56.6%となり、全体的には施策の進展が見られています。特に以下の基本施策では、すべての施策で達成または概ね達成となっています。

- ・3-03 地域包括ケアシステムの充実（100%）

- ・4-04 子ども・子育て支援の充実（100%）

一方、以下の基本施策では、達成または概ね達成の施策がなく、改善が課題となっています。

- ・1-03 港湾・物流の確保

- ・3-04 地域福祉の充実

(2) 進展有を含めた評価

進展有を含めた達成率は84.2%となり、指標が未達成であっても施策の目指す姿に向けた取組が着実に進展している分野が大多数を占めています。

特に以下の基本施策では、すべての施策で進展が見られています。

- ・1-02 一次産業の振興と地産地消の促進

- ・1-03 港湾・物流の確保

- ・2-01 魅力の創造と発信

- ・3-03 地域包括ケアシステムの充実

- ・4-01 学校教育の充実

- ・4-02 社会教育の充実

- ・4-03 教育環境の充実

- ・4-04 子ども・子育て支援の充実

- ・5-02 安全・安心な暮らし

- ・5-03 安全・安心な都市機能

- ・6-01 快適な住環境と自然環境

一方、以下の基本施策では、進展有を含めても50%以下となっており、抜本的な見直しが必要な状況が続いています。

- ・3-01 協働による地域づくり

- ・3-02 健康の増進と地域医療の充実

- ・3-04 地域福祉の充実

(3) 分野別の特徴

「教育・子育て」分野では、4つの基本施策すべてで進展有を含めた達成率が100%となっており、計画期間を通じた継続的な取組の成果が顕著に表れています。「防災・防犯」分野では、「5-02 安全・安心な暮らし」及び「5-03 安全・安心な都市機能」で進展有を含めた達成率が100%となるなど、一部分野で高い成果を上げています。一方、「健康・福祉」分野では、人口減少・高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症の影響、担い手不足など複合的な要因が重なり、施策の目指す姿の実現が困難な状況が続いています。「3-01 協働による地域づくり」「3-02 健康の増進と地域医療の充実」及び「3-04 地域福祉の充実」については、進展有を含めた達成率が50%以下にとどまり、当該分野が全体の中で改善を要する分野となっています。

1-01 地域産業の振興

(1) 目指す姿

地域産業の活性化と起業の促進、働きやすい環境づくり

(2) 達成状況

6 施策中 4 施策達成（達成率 66.7%、進展有含む 83.3%）

施策区分	達成状況
1-01-01 創業	達成
1-01-02 中小企業	未達成
1-01-03 雇用・労働	未達成（進展有）
1-01-04 水産加工・特産品	概ね達成
1-01-05 移住・定住促進	概ね達成
1-01-06 企業進出と誘致	達成

(3) 主な取組・成果と課題

創業については、地元企業応援助成金を活用した新規創業支援により、創業支援対象者数が目標を上回っており、新たな事業展開や地域経済の活性化につながっています。

中小企業については、地元企業応援助成金の活用や人材確保に向けた取組を進めているものの、人口減少、経営者の高齢化、後継者不足などを背景に、法人数や商工会議所会員数は目標を下回っており、地域経済を支える事業者の維持が課題となっています。

雇用・労働については、新規卒者就職率は高い水準を維持している一方、有効求人倍率は目標を下回っており、若年層や中堅世代の市内定着、地元企業の人材確保が課題です。

水産加工・特産品については、水産加工品生産量は目標を下回っているものの、ふるさと納税返礼品の多様化や販路拡大により、地域資源を活用した特産品の発信が進んでいます。

移住・定住促進については、越境学生の受入れは増加しているものの、市外からの長期的な移住やUターンによる定住には十分結びついておらず、移住受入支援数は目標を下回っています。

企業進出と誘致については、域外企業との連携件数が目標を上回っており、包括連携協定などを通じた地域課題解決型の企業連携が進んでいます。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ 地元企業の経営基盤強化と事業承継支援
- ・ 若者・中堅世代の地元定着と人材確保
- ・ 起業・創業しやすい環境づくり
- ・ 移住・定住につながる住まい・仕事・教育環境の一体的な情報発信
- ・ 地域資源を活用した特産品の販路拡大とブランド化

1-02 一次産業の振興と地産地消の促進

(1) 目指す姿

地域産業の活性化と起業の促進、働きやすい環境づくり

(2) 達成状況

4 施策中 2 施策達成（達成率 50.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
1-02-01 農業	概ね達成
1-02-02 林業	達成
1-02-03 漁業	未達成（進展有）
1-02-04 地産地消	未達成（進展有）

(3) 主な取組・成果と課題

農業については、担い手への農地集積やスマート農業技術の導入により、作業効率の向上や農業経営の基盤強化が進んでいます。

また、農業販売額は目標を上回っています。一方、新規就農者数は目標に達しておらず、将来の地域農業を支える担い手の確保が課題です。

林業については、林道・作業道の整備が進み、未整備地区の森林整備が促進されています。一般民有林における素材搬出量やCO₂貯蔵量も目標を上回っており、森林の公益的機能の維持に向けた取組が進んでいます。

漁業については、水産資源の維持や新たな事業の立ち上げ、操業体制の検討などを進めているものの、漁業生産高、漁業従事者数ともに目標を下回っており、資源変動や担い手不足への対応が課題です。

地産地消については、産直イベントなどを通じた地場製品の消費拡大に取り組んでいますが、参加者数は目標を大きく下回っており、地場製品の安定供給や市民への浸透に課題があります。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・農林漁業の担い手確保と経営基盤の強化
- ・新規就農・新規就業につながる支援体制の充実
- ・水産資源の安定確保と漁業生産体制の強化
- ・地場製品の安定供給、ブランド化、販路拡大
- ・地産地消の市民生活への一層の浸透

1-03 港湾・物流の確保

- (1) 目指す姿
地域産業の活性化と起業の促進、働きやすい環境づくり

- (2) 達成状況
2施策中0施策達成（達成率 0.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
1-03-01 留萌港	未達成（進展有）
1-03-02 貿易	未達成（進展有）

- (3) 主な取組・成果と課題

留萌港については、小麦集出荷貯蔵施設の新設・運用開始など、物流機能の強化に向けた取組が進んでいます。一方、主要貨物である石炭の取扱量減少などにより、留萌港取扱貨物量は目標を下回っており、新たな貨物の確保が課題です。

貿易については、関係機関と連携し、輸出促進に向けた情報収集や説明会等の取組を進めていますが、輸出特産品数は目標に達しておらず、市内企業の輸出意識の醸成や海外販路開拓には課題が残っています。

- (4) 次期計画に向けた主な課題

- ・留萌港の取扱貨物量の確保
- ・石炭に代わる新たな取扱貨物の発掘
- ・洋上風力発電事業の基地港湾としての利活用検討
- ・地場産品を活用した輸出特産品の創出
- ・市内企業の貿易拡大・海外販路開拓への支援

2-01 魅力の創造と発信

(1) 目指す姿

魅力あふれる留萌ブランドの発信とおもてなしの向上

(2) 達成状況

5施策中4施策達成（達成率 80.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
2-01-01 観光・地域間交流	未達成（進展有）
2-01-02 国際交流	達成
2-01-03 公園緑地	達成
2-01-04 留萌港	達成
2-01-05 関係・交流人口の創出と民間協働	達成

(3) 主な取組・成果と課題

観光・地域間交流については、観光客の入込み数や訪日外国人宿泊客延人数は目標を上回っており、道の駅るもいを核とした交流人口の拡大が進んでいます。一方、宿泊客数は目標を下回っており、夏季偏在・通過型観光からの脱却が課題です。

国際交流については、留萌市国際交流協会との連携により、外国人技能実習生等と市民との交流事業が進められ、市民と外国人が共生する地域づくりに向けた取組が進んでいます。

公園緑地については、道の駅るもいや船場公園を核とした交流拠点機能が高まり、来訪者の増加や地域の魅力発信につながっています。

留萌港については、客船寄港が実現し、港を活用した交流人口の拡大に一定の成果が見られます。

関係・交流人口の創出と民間協働については、ふるさと納税や企業版ふるさと納税、域外企業との連携が進み、留萌市への関心や民間協働の広がりにつながっています。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・滞在型・体験型観光メニューの充実
- ・通年型観光への転換
- ・インバウンド需要を取り込む多言語対応や受入環境整備
- ・道の駅るもい、船場公園、留萌港を活用した周遊促進
- ・関係人口を移住・定住につなげる仕組みづくり

3-01 協働による地域づくり

(1) 目指す姿

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

(2) 達成状況

4 施策中 1 施策達成（達成率 25.0%、進展有含む 50.0%）

施策区分	達成状況
3-01-01 市民活動	概ね達成
3-01-02 町内会	未達成
3-01-03 コミュニティセンター	未達成（進展有）
3-01-04 男女共同参画	未達成

(3) 主な取組・成果と課題

市民活動については、市民活動振興助成金の申請件数は目標を上回っていますが、利用団体の固定化が見られ、市民活動やボランティア活動が市民全体に広く浸透するまでには至っていません。

町内会については、加入促進の取組を継続しているものの、人口減少、集合住宅の未加入、役員の高齢化や担い手不足などにより、地域コミュニティの維持が課題であるが、地域の実情に応じた自主的な施設管理や活動運営に取り組む町内会も見られるなど、住民の主体性に基づくコミュニティ活動の展開が進みつつあります。

コミュニティセンターについては、市民一人当たりの年間延利用回数が目標を下回っていますが、災害時の指定避難所として、また、地域コミュニティ活動の拠点として重要な役割を担っており、運営協議会による指定管理事業では、地域の実情に応じた施設管理と協働事業の実施を通じて、コミュニティセンターの多面的な機能充実が図られています。

男女共同参画については、各種審議会等における女性委員の構成率が目標を大きく下回っており、意思決定の場への女性参画の拡大が進んでいません。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・地域コミュニティの担い手確保・育成
- ・町内会加入促進と役員負担の軽減
- ・コミュニティセンターの利活用促進
- ・市民活動・ボランティア活動の裾野拡大
- ・男女共同参画の推進と女性参画の拡大

3-02 健康の増進と地域医療の充実

(1) 目指す姿

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

(2) 達成状況

4 施策中 1 施策達成（達成率 25.0%、進展有含む 50.0%）

施策区分	達成状況
3-02-01 健康・保健予防	未達成
3-02-02 高齢者	未達成
3-02-03 地域医療	概ね達成
3-02-04 地域センター病院	未達成（進展有）

(3) 主な取組・成果と課題

健康・保健予防については、がん検診や乳幼児健診の受診促進、るもい健康の駅を活用した健康教育・健康情報の発信などに取り組んでいます。一方、がん検診受診者数や乳幼児健診受診率は目標を下回っており、地域の健康課題の克服や、データに基づく予防対策の発信には課題があります。

高齢者については、介護予防事業を進めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響や高齢化の進行により、介護予防事業延参加率は目標を下回っています。一方、高齢者向けバス利用促進策により、約70%の利用者が外出機会の増加につながったと回答されており、社会参加、高齢者の生きがいづくりに寄与していることから、高齢者の外出機会の拡大が介護予防事業への参加につながるよう、高齢者の社会参加、見守り、地域での支え合い体制の充実が必要です。

地域医療については、看護師等修学資金貸付制度により一定の人材確保に努めるなど、医師不足等の厳しい状況の中でも、救急・周産期・小児医療の提供体制の維持に努めており、市民が安心して医療を受けられる体制の確保に取り組んでいます。

地域センター病院については、限られた医療資源の中で、救急、周産期・小児医療、リハビリテーション、感染症対応など、地域センター病院として必要な役割を継続して果たしています。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・健診・検診受診率の向上
- ・コホート研究等のデータを活用した健康づくりの推進
- ・高齢者の介護予防と社会参加の促進
- ・医師・看護師等の医療人材の確保
- ・救急・周産期・小児医療体制の維持

3-03 地域包括ケアシステムの充実

(1) 目指す姿

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

(2) 達成状況

1 施策中 1 施策達成（達成率 100.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
3-03-01 地域包括ケアシステム	達成

(3) 主な取組・成果と課題

地域包括ケアシステムについては、認知症サポーター養成講座の受講者数が目標を上回り、認知症に対する理解促進と地域で支える意識の向上が進んでいます。

また、在宅医療と介護の連携、地域包括支援センターによる相談支援、関係機関との連携により、高齢者が住み慣れた地域で生活するための支援体制が整いつつあります。

一方、後期高齢者人口の増加に伴い、認知症や生活支援、見守りを必要とする高齢者は今後さらに増加することが見込まれます。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ 認知症施策のさらなる推進
- ・ 地域包括支援センターの機能強化
- ・ 医療・介護・生活支援の連携強化
- ・ 民間企業、ボランティア等を含めた生活支援体制づくり
- ・ 高齢者を地域で支え合う仕組みの充実

3-04 地域福祉の充実

(1) 目指す姿

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

(2) 達成状況

2施策中0施策達成（達成率 0.0%、進展有含む 0.0%）

施策区分	達成状況
3-04-01 地域福祉	未達成
3-04-02 障がい者福祉	未達成

(3) 主な取組・成果と課題

地域福祉については、社会福祉協議会との連携により、除雪ボランティアや海水浴場のクリーン作戦など、地域に根差した活動を継続しています。一方、ボランティアセンター登録団体数は目標を下回っており、地域福祉活動への広範な住民参加には至っていません。

障がい者福祉については、障がいのある方の就労支援や自立支援に取り組んでいますが、一般就労への移行者数や就労移行支援事業所利用者数は目標を下回っています。

また、障がいへの理解促進や差別・偏見のない社会づくりに向けた市民への啓発・交流機会の創出が十分ではありません。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・地域福祉活動の担い手確保
- ・ボランティア活動の活性化と参加者拡大
- ・障がいのある方の就労支援・自立支援の充実
- ・障がいへの理解促進と共生社会づくり
- ・相談支援体制の充実

3-05 社会保障の充実

(1) 目指す姿

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

(2) 達成状況

5施策中3施策達成（達成率 60.0%、進展有含む 60.0%）

施策区分	達成状況
3-05-01 国民健康保険	未達成
3-05-02 後期高齢者医療	達成
3-05-03 介護保険	未達成
3-05-04 医療費助成	達成
3-05-05 生活保護・自立支援	達成

(3) 主な取組・成果と課題

国民健康保険については、特定健康診査の受診勧奨や特定保健指導に取り組んでいますが、受診率・実施率ともに目標を大きく下回っており、医療費の適正化には課題があります。

後期高齢者医療については、健康診査の受診勧奨や重症化予防対策により、高齢者の健康意識の向上と医療費の抑制につながっています。

介護保険については、高齢化の進行に伴い要介護・要支援認定者率が上昇傾向にあり、多様化する介護ニーズへの対応が課題です。

医療費助成については、北海道基準に加え、市独自の助成範囲拡大により、子育て世帯や障がいのある方などの経済的負担軽減に寄与しています。

生活保護・自立支援については、就労可能な受給者への支援により、生活保護から自立した世帯の割合が目標を上回っています。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ 特定健康診査・特定保健指導の受診率向上
- ・ 医療費の適正化と重症化予防
- ・ 高齢化に伴う介護ニーズへの対応
- ・ 医療費助成制度の適切な運営と利便性向上
- ・ 生活保護受給者の自立支援の継続

4-01 学校教育の充実

(1) 目指す姿

学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実

(2) 達成状況

5 施策中 4 施策達成（達成率 80.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
4-01-01 確かな学力を身に付けるための教育の充実	概ね達成
4-01-02 豊かな心の育成	達成
4-01-03 健やかな身体の育成	概ね達成
4-01-04 教職員の資質・能力の総合的な向上	未達成（進展有）
4-01-05 信頼される学校づくりの推進	達成

(3) 主な取組・成果と課題

確かな学力を身に付けるための教育については、学習アシスタントや A L T の配置、I C T を活用した授業改善により、児童生徒一人ひとりに応じた学びの充実が進んでいます。

豊かな心の育成については、自己肯定感を高める取組や道徳教育により、児童生徒の心の育成に一定の成果が見られます。

健やかな身体の育成については、体力向上や生活習慣の改善に向けた取組が進められています。

教職員の資質・能力の向上については、研修参加の機会は確保されていますが、授業理解度など具体的な成果として十分に表れていない面があり、継続的な授業改善が必要です。

信頼される学校づくりについては、危機管理マニュアルの整備や地域との連携により、安全・安心な学校運営が進められています。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ 児童生徒の学力向上と個別最適な学びの充実
- ・ 自己肯定感や郷土愛を育む教育の推進
- ・ 教職員の授業力向上と働き方改革
- ・ I C T を活用した教育環境の充実
- ・ 地域と連携した学校づくり

4-02 社会教育の充実

(1) 目指す姿

学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実

(2) 達成状況

3 施策中 1 施策達成（達成率 33.3%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
4-02-01 生涯教育の充実	未達成（進展有）
4-02-02 生涯スポーツの推進	達成
4-02-03 芸術・文化活動の推進と歴史の伝承	未達成（進展有）

(3) 主な取組・成果と課題

生涯教育については、中央公民館や文化センターなどの社会教育施設を活用した学習機会を提供していますが、利用回数は目標を下回っており、施設の老朽化や人口減少の影響も課題となっています。

生涯スポーツについては、スポーツ合宿の誘致や市民がスポーツに親しむ環境づくりが進み、交流人口の拡大にもつながっています。

芸術・文化活動と歴史の伝承については、旧佐賀家漁場の活用や郷土学習に取り組んでいますが、来場者数や講座参加者数は目標を下回っており、文化活動の担い手確保や歴史資源の活用が課題です。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・社会教育施設の機能見直しと利用促進
- ・新交流複合施設を見据えた学習・文化活動環境の整備
- ・スポーツ活動の継続的な推進
- ・郷土文化・歴史資源の保存と活用
- ・芸術・文化活動の担い手確保

4-03 教育環境の充実

(1) 目指す姿

学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実

(2) 達成状況

3施策中2施策達成（達成率 66.7%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
4-03-01 安全・安心な教育環境の確保	未達成（進展有）
4-03-02 児童生徒の安全対策の充実	達成
4-03-03 教育環境の維持向上	概ね達成

(3) 主な取組・成果と課題

安全・安心な教育環境については、小・中学校施設の耐震化率は100%を達成していますが、老朽化対策や学校給食における地産地消率などに課題が残っています。

児童生徒の安全対策については、登下校時の交通事故発生件数ゼロを維持しており、通学時の安全確保に取り組んでいます。

教育環境の維持向上については、越境学生等の受入支援数が目標を上回っており、地元高校の魅力向上に向けた取組が進んでいます。一方、地元高校生数は目標を下回っており、少子化への対応が課題です。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ 学校施設の老朽化対策
- ・ 安全・安心な教育環境の継続的な整備
- ・ 通学路の安全点検と事故防止
- ・ 地元高校の魅力向上
- ・ 越境学生受入支援の継続

4-04 子ども・子育て支援の充実

(1) 目指す姿

学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実

(2) 達成状況

5施策中5施策達成（達成率 100.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
4-04-01 子ども・子育て	概ね達成
4-04-02 幼児教育・保育	概ね達成
4-04-03 子ども発達支援センター	達成
4-04-04 青少年	達成
4-04-05 ひとり親家庭等	達成

(3) 主な取組・成果と課題

子ども・子育てについては、子育て支援センターや児童センターの運営を通じて、子どもや保護者が安心して利用できる環境づくりを進めています。

幼児教育・保育については、認定こども園や保育所等の受け皿を確保し、子育て世帯のニーズに応じた教育・保育環境の維持に努めています。

子ども発達支援センターについては、待機児童ゼロを維持し、発達に支援を必要とする子どもへの支援体制が確保されています。

青少年については、青少年健全育成事業を通じ、地域活動への参加や健全育成の環境づくりが進んでいます。

ひとり親家庭等については、相談支援や経済的支援を通じ、子育て世帯の生活安定に寄与しています。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・少子化の進行に対応した保育・教育環境の維持
- ・子育て支援施設の利用促進
- ・発達支援体制の継続・充実
- ・青少年の地域参加機会の確保
- ・子育て世帯・ひとり親家庭への支援継続

5-01 安全・安心な地域づくり

(1) 目指す姿

一人ひとりの安全意識の向上と地域のつながりの一層の強化

(2) 達成状況

4 施策中 1 施策達成（達成率 25.0%、進展有含む 75.0%）

施策区分	達成状況
5-01-01 防災	概ね達成
5-01-02 町内会	未達成（進展有）
5-01-03 コミュニティセンター	未達成（進展有）
5-01-04 共助による減災	未達成

(3) 主な取組・成果と課題

防災については、地域防災計画の見直しや防災訓練、防災意識の啓発により、市民の防災意識向上に取り組んでいます。

町内会については、地域防災の基礎となる組織ですが、加入率の低下や担い手不足により、地域活動の維持に課題があります。

コミュニティセンターについては、地域の避難所や活動拠点としての役割があり、訓練や施設活用を通じて地域防災力の向上に寄与しています。

共助による減災については、自主防災組織数や防災訓練実施団体数、避難行動要支援者名簿の同意割合が目標を下回っており、地域で支え合う防災体制の強化が課題です。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ 自主防災組織の設立促進
- ・ 町内会を中心とした地域防災力の強化
- ・ 防災訓練の実施支援
- ・ 避難行動要支援者への支援体制の充実
- ・ 個別避難計画の策定推進

5-02 安全・安心な暮らし

(1) 目指す姿

一人ひとりの安全意識の向上と地域のつながりの一層の強化

(2) 達成状況

5施策中4施策達成（達成率 80.0%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
5-02-01 市民相談	達成
5-02-02 防犯	未達成（進展有）
5-02-03 除雪	達成
5-02-04 火災・救急救命	達成
5-02-05 交通安全	概ね達成

(3) 主な取組・成果と課題

市民相談については、市民の生活上の不安や課題に対応する相談体制を維持しています。

防犯については、警察署や防犯協会等との連携、防犯パトロール、防犯カメラの運用により、犯罪の未然防止に取り組んでいます。

除雪については、冬期間の道路交通や生活環境を維持するため、関係機関・事業者との連携により除排雪体制を確保しています。

火災・救急救命については、消防・救急体制の維持と救命講習等により、市民の生命を守る体制が確保されています。

交通安全については、関係機関との連携により、交通安全啓発や事故防止に取り組んでいます。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・市民相談体制の継続
- ・防犯活動と防犯環境の維持
- ・除排雪事業者の確保
- ・消防・救急体制の維持・強化
- ・高齢者や子どもを対象とした交通安全対策の推進

5-03 安全・安心な都市機能

(1) 目指す姿

一人ひとりの安全意識の向上と地域のつながりの一層の強化

(2) 達成状況

3施策中2施策達成（達成率 66.7%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
5-03-01 道路・橋りょう	未達成（進展有）
5-03-02 河川・ダム	達成
5-03-03 防災活動拠点・行政機能	達成

(3) 主な取組・成果と課題

道路・橋りょうについては、道路照明や橋りょうの維持補修を進めていますが、資材価格や人件費の高騰などにより、計画的な更新・予防保全に課題があります。

河川・ダムについては、河道の浚渫や施設の適正管理により、大雨時の被害防止に取り組んでいます。

防災活動拠点・行政機能については、新交流複合施設の整備検討を通じて、災害時の行政機能や防災活動拠点の確保に向けた検討が進んでいます。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・道路・橋りょうの計画的な維持補修
- ・資材価格・人件費高騰を踏まえた事業管理
- ・河川浚渫やダム管理による水害対策
- ・防災活動拠点の機能確保
- ・新交流複合施設整備との整合

6-01 快適な住環境と自然環境

(1) 目指す姿

都市機能の効率的な集積と地域資源の利活用

(2) 達成状況

7施策中4施策達成（達成率 57.1%、進展有含む 100.0%）

施策区分	達成状況
6-01-01 生活環境	未達成（進展有）
6-01-02 脱炭素社会の実現と省エネルギー・再生可能エネルギー	未達成（進展有）
6-01-03 上水道	達成
6-01-04 下水道・浄化槽・し尿処理	概ね達成
6-01-05 火葬場・墓地	達成
6-01-06 除雪	達成
6-01-07 新たな公共施設整備の検討や集約化	未達成（進展有）

(3) 主な取組・成果と課題

生活環境については、家庭ごみ量の削減など一定の成果が見られる一方、リサイクル率の向上や分別の徹底、不法投棄対策が課題です。

脱炭素社会の実現については、省エネルギーや再生可能エネルギー導入に取り組んでいますが、再生可能エネルギー導入量は目標を下回っており、ゼロカーボンに向けた取組強化が必要です。

上水道については、取水・導水施設の耐震化などにより、安定した水道供給体制の確保が進んでいます。

下水道・浄化槽・し尿処理については、計画的な整備・管理により、生活環境の維持に寄与しています。

火葬場・墓地については、市民生活に必要な施設として、適切な維持管理が行われています。

除雪については、冬期間の生活環境を維持するため、除排雪体制の確保に努めています。

新たな公共施設整備の検討や集約化については、新交流複合施設の基本構想策定など検討は進んでいますが、建築コストの高騰や財政負担を踏まえ、規模やスケジュールの精査が必要です。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・ごみの減量化、リサイクル率向上、分別徹底
- ・再生可能エネルギー導入促進とゼロカーボン推進
- ・上下水道施設の計画的な更新・耐震化
- ・除排雪体制の維持
- ・公共施設の集約化と新交流複合施設整備の精査

6-02 快適な都市機能

(1) 目指す姿

都市機能の効率的な集積と地域資源の利活用

(2) 達成状況

8施策中4施策達成（達成率 50.0%、進展有含む 75.0%）

施策区分	達成状況
6-02-01 都市計画・地籍調査	未達成（進展有）
6-02-02 道路・橋りょう	達成
6-02-03 河川・ダム	達成
6-02-04 留萌港	未達成
6-02-05 市営住宅	未達成（進展有）
6-02-06 公園緑地・花	概ね達成
6-02-07 商店街	未達成
6-02-08 地域社会のデジタル化（DX）	概ね達成

(3) 主な取組・成果と課題

都市計画・地籍調査については、JR 留萌本線廃線後の代替交通確保などに取り組んでいますが、市内線バス乗客人員は目標を下回っており、公共交通の維持・再編が課題です。

道路・橋りょうについては、幹線道路や生活道路の整備・維持補修が進み、安全な道路機能の確保に取り組んでいます。

河川・ダムについては、河川災害の発生防止に向けた管理が行われています。

留萌港については、取扱貨物量が目標を下回っており、港湾施設の利活用促進と新たな貨物の確保が課題です。

市営住宅については、人口減少や郊外団地の空き住戸増加により、管理戸数や入居状況の適正化が課題となっています。

公園緑地・花については、環境美化パートナー制度などにより、市民協働による維持管理が進んでいます。

商店街については、人口減少や経営者の高齢化、閉店の増加により、商店街加入数は目標を下回っており、賑わいの維持が課題です。

地域社会のデジタル化については、電子申請や文書管理・電子決裁システムなど、行政DXの基盤整備が進んでいます。

(4) 次期計画に向けた主な課題

- ・立地適正化計画・都市計画マスタープランの策定
- ・公共交通ネットワークの再編
- ・道路・橋りょうの計画的な維持管理
- ・留萌港の新たな利活用促進
- ・市営住宅の集約化と適正管理
- ・商店街の担い手確保と持続可能な商業環境づくり
- ・行政DXのさらなる推進と市民サービス向上